

令和8年度全国学力・学習状況調査における 岡崎市立小中学校児童生徒の結果について

岡崎市教育委員会

1 調査分析概要（全国の平均正答率との比較）

（1）全体の様子

小学校においては、算数は「よくできている」、国語は「できている」状況にあります。「知識・技能」に関する問題については、算数が「よくできている」、国語は「努力を要する」状況にあり、「思考・判断・表現」に関する問題については、算数は「よくできている」、国語は「できている」状況にあります。

中学校においては、英語は「聞くこと・読むこと・書くこと」が「たいへんよくできている」、国語・数学・英語の「話すこと」は「できている」状況にあります。「知識・技能」に関する問題については、国語・英語が「よくできている」、数学は「できている」状況にあり、「思考・判断・表現」に関する問題については、英語が「よくできている」、国語・数学が「できている」状況にあります。

※中学校英語は、公開問題の結果から分析しています。

（2）小中学校別各教科に関する問題の様子

《小学校6年生》

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<u>できている</u> ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることがたいへんよくできている。 ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができている。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができている。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力が弱い。
算数	<u>よくできている</u> ・立方体の体積の計算による求め方について理解する力がたいへん優れている。 ・日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することがたいへんよくできている。 ・示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述することがたいへんよくできている。 ・二次元の表から、条件に合う数を読み取る力が弱い。
学習状況	・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童は、そうでない児童に比べて正答率が高い。 ・「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか」において、時間が少ないほど正答率が高くなる傾向にある。 ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童は、「当てはまらない」と回答した児童に比べて正答率が高い。 ・「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」と回答した児童は、「できていない」と回答した児童に比べ、正答率が高い傾向にある。
生活状況	・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童の割合は、全国平均を大きく上回っている。 ・「人が困っている時は進んで助けている」と回答した児童の割合は、全国平均を上回っている。 ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の質問に「よくある」と回答した児童の割合は、全国平均を下回っている。 ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童の割合は、全国平均を下回っている。

《中学校3年生》

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<u>できている</u> ・単語の類別について理解する力がたいへん優れている。 ・文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことがよくできている。 ・語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉える力がやや弱い。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力がやや弱い。
数学	<u>できている</u> ・反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、xの値に対するyの値を求めることがたいへんよくできている。 ・起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることがたいへんよくできている。 ・四角形において、2直線が平行になるための条件を理解する力がやや弱い。 ・筋道を立てて考え、証明する力が弱い。
英語	<u>聞・読・書く</u> <u>たいへんよくできている</u> ・社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることがたいへんよくできている。 ・日常的な話題について、目的に応じて必要な情報を読み取ることがたいへんよくできている。 ・音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能がたいへん優れている。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く力がやや弱い。
	<u>話す</u> <u>できている</u> ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことがたいへんよくできている。 ・音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が弱い。
学習状況	・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」と回答している生徒の正答率が高い傾向にある。 ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した生徒の割合が全国平均を下回っている。
生活状況	・「学級で人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。 ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した生徒の割合は全国平均を大きく下回り、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した生徒の割合も全国平均を下回っている。

2 岡崎市の基本的な考え方

すべての子供の学びを保障し、主体的・対話的な学びを通して、それぞれが深い学びを実現することを目指します。そのために、子供の学びの個性化、教師の指導の個別化を、さらに積極的に推進します。

3 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組

- (1) 国語、算数・数学、英語における岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係を詳細に分析し、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を把握します。
- (2) (1)の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事等が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。
- (3) 各学校で行っている「教育診断アンケート(学校評価)」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むように指示します。
- (4) 教育委員会と学校は、家庭や地域と連携しながら、子供たちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めていきます。

4 留意点

- (1) この調査は、子供たちの学習状況の改善を図るために参考とするものです。
- (2) この調査で測定した学力や学習状況は、特定の一部分です。
- (3) 学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。
- (4) 家庭では、得意なこと・不得意なことを知り、また生活習慣の充実を図るなど、児童生徒が学習に意欲をもって取り組める励ましや環境づくりをお願いします。